

航空券予約データを用いた訪日外国人旅行者の航空券購買行動分析

訪日外国人旅行者の増加に伴い、関西空港からの入国者も増加傾向にある。直近の2019年には、関西空港利用者が日本全体の入国外国人全体の27%を占め、シェア1位の成田空港の29%に2ポイント差まで迫る規模となった。

先行研究では、予約時期や予約チャネル等の「旅マエ」の購買行動については十分に明らかにされてこなかった。本論文では航空券予約データを用いて、競合国行き航空券と関西空港行き航空券の購買行動をより詳細に分析することにより、関西空港行きの旅行者を取り込む施策を提言する。

航空券予約データから競合国行きと関西空港行きの航空券の購買行動が異なることが明らかとなった。そこで、関西空港へ訪日外国人旅行者を取り込むために「1~2月の旅行需要」「Retail TA 利用層」「直前予約層」の3つに注力すべきと提言する。